

平成24年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月9日

上場取引所 大

上場会社名 エイケン工業株式会社

コード番号 7265 URL <http://www.eiken-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理室長 (氏名) 池田 文明

TEL 0537-86-3105

四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第1四半期の業績(平成23年11月1日～平成24年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第1四半期	1,157	6.1	53	33.3	54	24.4	1	△94.1
23年10月期第1四半期	1,091	△6.3	40	△23.0	43	△21.1	18	△45.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第1四半期	0.20	—
23年10月期第1四半期	3.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第1四半期	4,808	3,429	71.3
23年10月期	4,591	3,510	76.5

(参考) 自己資本 24年10月期第1四半期 3,429百万円 23年10月期 3,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	12.50	12.50
24年10月期	—	—	—	—	—
24年10月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,290	0.4	41	△52.7	41	△53.4	23	△47.8	4.44
通期	4,550	△4.5	96	△61.8	100	△61.2	57	△60.8	10.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年10月期1Q	7,200,000 株	23年10月期	7,200,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年10月期1Q	1,908,185 株	23年10月期	1,848,185 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期1Q	5,323,771 株	23年10月期1Q	5,438,282 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響から緩やかながら持ち直しているものの、欧州債務危機に端を発した世界経済の低迷及び円高の長期化による輸出企業の収益の圧迫、株価の低迷、雇用情勢に一向の改善がみられない等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、鋼材等の原材料価格の高止まりによる製造原価の上昇及び海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような環境の中にあつて、当社は、売上高は11億57百万円（前年同四半期比6.1%増）、売上高が増加したことが要因となり、営業利益は53百万円（前年同四半期比33.3%増）、経常利益は54百万円（前年同四半期比24.4%増）となりました。前年同四半期累計期間に計上しました資産除却債務会計基準の適用に伴う影響額100百万円を計上しなかったものの、投資有価証券評価損を45百万円計上したことが要因となり、四半期純利益は1百万円（前年同四半期比94.1%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上はカーショップ向けが増加し、輸出売上は前年同四半期累計期間とほぼ同額でした。営業利益に関しては、鋼材等の原材料価格の高止まりにより製造原価が上昇したものの、販売費及び一般管理費が減少したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は10億98百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は1億3百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、熱交換器及びバーナ部品の売上高が減少しました。営業利益に関しては、売上高が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は57百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は4百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

(その他)

当第1四半期累計期間より、車載用加湿器及びティッシュケース等の販売を開始しました。

その結果、売上高は50万円、営業損失は61万円となりました。

なお、「セグメント別の業績」(その他)については、前年実績がありませんので前年同期比較に関する情報を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、25億50百万円（前事業年度末比0.9%減）となりました。主な要因は、現金及び預金が54百万円減少したことによるものです。

固定資産は、22億57百万円（前事業年度末比11.9%増）となりました。主な要因は、建設仮勘定が3億66百万円減少したものの、建物が4億72百万円、機械及び装置が1億46百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、48億8百万円（前事業年度末比4.7%増）となりました。

(負債)

流動負債は、12億18百万円（前事業年度末比31.7%増）となりました。主な要因は、設備関係未払金が1億31百万円及び設備関係支払手形が1億92百万円増加したことによるものです。

固定負債は、1億60百万円（前事業年度末比3.0%増）となりました。主な要因は、退職給付引当金が3百万円減少したものの、預り保証金が10百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、13億79百万円（前事業年度末比27.6%増）となりました。

(純資産)

純資産合計は、34億29百万円（前事業年度末比2.3%減）となりました。主な要因は、利益剰余金が65百万円減少したこと及び自己株式が20百万円増加したことによるものです。

- (3) 業績予想に関する定性的情報
該当事項はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,053	697,696
受取手形及び売掛金	1,170,212	1,135,872
商品及び製品	411,640	419,726
仕掛品	39,878	57,261
原材料及び貯蔵品	154,879	165,457
その他	47,184	75,703
貸倒引当金	△1,182	△1,138
流動資産合計	2,574,666	2,550,580
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	468,771	941,344
機械及び装置（純額）	351,817	497,836
その他（純額）	858,958	502,129
有形固定資産合計	1,679,546	1,941,310
無形固定資産	11,979	10,902
投資その他の資産		
その他	325,976	305,984
貸倒引当金	△776	△701
投資その他の資産合計	325,200	305,283
固定資産合計	2,016,727	2,257,497
資産合計	4,591,393	4,808,077
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	255,335	227,886
短期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	43,371	46,800
賞与引当金	24,516	73,549
その他	352,150	620,574
流動負債合計	925,373	1,218,810
固定負債		
退職給付引当金	113,947	110,111
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	26,992	35,569
固定負債合計	155,500	160,240
負債合計	1,080,874	1,379,051

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,362,347	3,296,529
自己株式	△847,899	△867,939
株主資本合計	3,506,013	3,420,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,506	8,870
評価・換算差額等合計	4,506	8,870
純資産合計	3,510,519	3,429,026
負債純資産合計	4,591,393	4,808,077

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)
売上高	1,091,025	1,157,282
売上原価	912,131	969,408
売上総利益	178,893	187,874
販売費及び一般管理費	138,763	134,395
営業利益	40,130	53,478
営業外収益		
受取利息	735	348
受取配当金	1,429	1,518
投資有価証券評価益	1,204	—
受取賃貸料	1,548	998
その他	352	385
営業外収益合計	5,269	3,250
営業外費用		
支払利息	711	430
売上割引	1,052	1,187
投資有価証券評価損	—	696
その他	6	154
営業外費用合計	1,770	2,468
経常利益	43,629	54,260
特別利益		
貸倒引当金戻入額	100	—
補助金収入	—	500
保険解約返戻金	327	—
受取保険金	2,134	—
特別利益合計	2,562	500
特別損失		
固定資産除却損	34	44
投資有価証券評価損	—	45,000
貸倒引当金繰入額	10	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,173	—
特別損失合計	10,218	45,044
税引前四半期純利益	35,973	9,716
法人税、住民税及び事業税	27,516	45,347
法人税等調整額	△9,764	△36,711
法人税等合計	17,751	8,636
四半期純利益	18,222	1,079

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,098,798	57,978	1,156,777	505	1,157,282	—	1,157,282
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,098,798	57,978	1,156,777	505	1,157,282	—	1,157,282
セグメント利益 又は損失(△)	103,157	4,819	107,977	△619	107,357	△53,878	53,478

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

該当事項はありません。

以上